やさしさと…ぬくもりと…ほほえみと・・・

苑だより 第48号

社会福祉法人
和寒町社会福祉協議会
和寒町特別養護老人ホーム
芳　生　苑
発行責任：芳生苑
製作編集：広報委員会
発行日：令和3年12月31日

8月23日～26日 夏まつり

8月23日から4日間に渡ってお楽しみイベント「夏まつり!!」を開催しました。今年も新しいイベントが盛りだくさん。ピンクや黄色など見て楽しめるカラフル綿あめや手づかみOKのヨーヨー釣り、玉入れゲームはご利用者様に合わせて玉の大きさを変え、どのご利用者様にも楽しんでいただけるよう工夫しました。最終日の盆踊りは本物さながらお立ち台つきの「やぐら」を囲んで、皆さんで盆踊りを楽しみました。

この期間はお食事に夏の沖縄ランチやちらし寿司、おやつにアイスクリーム、トロピカルジュースなど夏を感じるごちそうもご用意いたしました。

和寒神社祭が行われた8月25日には、町内を練り歩くお神輿が芳生苑に来て下さり、担ぎ手の方々の力強いかけ声とともに太鼓の音が鳴り響きました。あいにくの雨で気温も低かったので、ご利用者の皆様には施設内でライブ中継をご覧いただきました。

祝 敬老 秋をまんきつ 感謝祭

ご利用者の皆様へお祝いと感謝の気持ちを込めてイベントを開催いたしました。今年は10名のご利用者様が節目の年を迎えられました。芳生苑ご利用者の皆様の健康とご長寿に、心よりお祝い申し上げます。これからもお元気にお過ごしください。

9月14日　記念式典

9月15日　収穫の秋

収穫の秋です。カボチャ大根ぬきにひろい。今年の実りはど大根はずっしり重色々。立派な大根ださい！とまえいた後は終祝いただきました。敬老をお祝いしました。

9月16日　芸術の秋

芸術の秋。貼り絵で秋の風景画を作りました。1枚の絵をパーツに分け、皆で共同作業です。ぶどうや梨など果物チームと楓や銀杏の紅葉チーム。どちらも素敵な作品に仕上がりました。

ファッションショップ

NEW OPEN

10/15

いくつになっても「おしゃれしたい！」

帯広市を中心に衣類販売サービスを展開されている(株)マルコシ様にご協力をいただき、本日限定ファッションショップをオープンしました。今までにない初めての試みです。感染対策を考慮し、販売スタッフ様には別室で待機していただき、職員が店員となってご利用者様の接客をいたしました。ハンガーラックに衣類を展示し、色やサイズ違いも多数ご用意。試着もOK！開店と同時にたくさんのご利用者様が来店され、ブティックさながらのフロアは大盛況です。

好みの色の洋服を手に取り、鏡の前で合わせてみます。「こっちの方がいいかな～？」「どうかな？」なかなか決まりません。試着して「大きさもいいね、うん！これにしよう！」スタッフと一緒に、お気に入りの一枚を選びました。

服を買うことは、生活に必要なこととして誰もが行う自然なことです。しかし年を重ねると色々なことが少しずつ大変になってきたり、出来なくなったり、時には諦めてしまうこともあるかもしれません。

生活の場がどこであっても、これまでの人生で当たり前にやってきたこと、それを続けられることは、最期まで人として生ききるために、その方の尊厳を守るために、とても大切なことだと感じます。私たちのケアを振り返ると、当たり前に出来ていないことがまだまだ多くあります。やって差し上げたいことと今できることとの狭間で日々、葛藤の連続ではありますがご利用者様の笑顔のために、これからもより良いケアを目指して頑張っていきたいと思います。

紅葉見学

紅葉の季節がやってまいりました。見頃には少し早い時期でしたが、お天気も良く暖かい日に、紅葉を見に行ってきました。

10月

動き出しはご本人から

感染拡大が収まらずオンラインでの研修が続いておりましたが、11月に開催した今年最後の介護技術研修会は、約1年ぶりに講師の大堀具視先生にお越しいただき、念願の直接指導による研修会を開催することが出来ました。先の見えない不安の中、「動き出しはご本人から」という私たちの原点ともなる介護技術を支えに日々、取り組んでまいりました。講師の先生からいただく一言一言はいつも私たちの気持ちを後押ししてくださり、ケアに取り組むモチベーションとなります。

この介護技術を学んでいく中で「これでいいのだろうか」「自分の介護は間違っていないだろうか」と研修のたびに何度も振り返りを重ね、仲間とともに歩んできました。なにかを「変える」ことは簡単ではありません。行き詰って悩んだり、思うようにいかない事もたくさんあります。でも真剣に考え、向き合い、努力してきたことは必ず力になります。そしてその答えはご利用者様が教えてくださいます。私たちの関わり、声のかけ方、接し方によって、ご利用者様は私たちの存在を受け入れ、想いを伝えてくださいます。

ご利用者様の意志を受け止める姿勢と、気づく視点を持ち続け「ご利用者様主体の介護」＝「動き出しはご本人から」の介護技術をさらに磨いていきたいと思います。

新人職員紹介

よろしくお願い致します!

倉光義子
（西棟介護員）

蓑島千春
（調理員）

小林沙折里
（調理員）